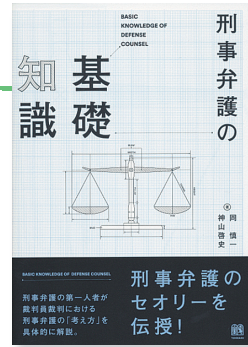


# 刑事弁護の基礎知識

岡 慎一 = 神山啓史

2015年12月発売 / 258頁 / 本体2100円+税  
A5判 / 並製



編集  
担当者  
から

本書は、2013年5月号～2014年4月号の本誌連載をもとにした刑事弁護の「考え方」を解説したものです。法廷における尋問や書式の書き方といった刑事弁護の「技術」を扱った本は多く出ていますが、それらとは異なり、本書は「ケース・セオリー」という結論を導く説得的な論拠をどうやってつくりあげていくかを、具体例に沿って解説しています。連載時と異なる点としては、①具体的な事件に沿って、どのようにストーリーを組み立てるかが検討されています。第2部と、②量刑を争う量刑事件についての詳細な解説を行う部（第3部）を追加した点です。細かな法解釈を扱うのではなく、具体的な設例に沿って、どう弁護するかを考えるものなので、法科大学院生や刑事弁護経験の少ない若手弁護士の方ももちろん、法学部生でも読みやすい本となっています。是非一度手にとってみて下さい！（山宮）

Point!



刑事弁護の「セオリー」を学ぶ。

第2部 ケース編：否認事件

## 2 証拠の検討

(1) 検察官請求証拠のうち「犯人性を立証するための証拠（部分）」

(Vの検察官調書)

- 被告人は、1年ぐらい前、甲（夫の友人）に連れられて、自宅に来たときに、初めて会った。夫や子供と一緒に食事した。その後も、2回ぐらい甲と一緒に来たことがあった。
  - 年○月○日午後11時ごろ、自宅で子供といたところ、2階から物音がした。そこで、2階に行き、廊下から子供部屋の中を覗いた。そのとき、人影が向かってきた。その男の顔を見た。顔見知りの被告人だった。
  - 被告人は右手に包を持ってた。朝さぬいとおっさに両手で包丁の刃を構んだ。被告人は私にぶつかってそのまま逃げた。
  - 子供部屋の明かりはついていなかった。廊下の明かりはついてた。
- (実況分調書【現場の血液付着状況】)  
V宅の玄関ドア、玄関床、1階廊下、廊下の左側壁及び居間に血液が多数付着している。いずれの血液もVのものである。
- (実況分調書【被告人着衣の血液付着状況】)  
被告人が事件当日に着ていた上着前面部分に血液様のものが少量付着している。
- (鑑定書)  
被告人着衣の血液のDNA型（STR型15座位及びアミノ酸型）は、VのDNA型と一致している。

(2) 類型証拠開示

(7) Vの検察官調書の証明力判断のための類型証拠の例

・Vの警察官調書（事件当日に作成）(5号口)  
犯人は髪が短く金色に染めていて、身長で180cmの長身だったので、被告人に間違いない（「犯人の顔を見た」という供述はない）。

162

## 〔目次〕

### 第1部 基本編

刑事裁判の変化 / 弁護人の任務と方針決定 / ケース・セオリー / 捜査段階の弁護活動 / 身体拘束からの解放 / 起訴後の公判準備（概要） / 証拠開示 / 弁護人による調査と証拠収集 / 検察官請求証拠に対する意見 / 公判前整理手続における争点及び証拠の整理 / 最終弁論 / 冒頭陳述 / 証人尋問のルールと異議 / 主尋問 / 反対尋問

### 第2部 ケース編：否認事件

[ケース1] 強盗殺人未遂事件 / [ケース2] 強盗致傷事件

### 第3部 量刑についての弁護活動

量刑判断の枠組み / 量刑事件におけるケース・セオリー / 量刑事件弁護の留意点 / 殺人事件の量刑弁護 / 傷害致死事件の量刑弁護 / 強盗致傷事件の量刑弁護 / 強盗致傷事件の量刑弁護

### 第4部 弁護活動の限界

弁護活動の限界